

# 牧草園藝

夕張部長沼町字幌内一〇六六  
雪印種苗株式会社  
中央研究農場



# 美しい花壇の作り方

重岡義雄

## 一 花壇のいろいろ

花壇はその植付ける様式によつて、次の四つに分けられる

- 模倣花壇 (毛氈花壇(カーペット) リボン花壇(縁花壇))
- 花壇 (叢状花壇 (境栽花壇(ボーダー) 寄植花壇(盛花花壇))

毛氈花壇やリボン花壇は、一般に西洋花壇と言われ、芝生のある洋風庭園にはよく釣合うものである。これらの花壇は、何れも花色の美しい矮性の草花を、模様式に植込むところに特色がある。この模様花壇のうちで、芝生の中程に円形、楕円形、長方形等の花床を作り、そこに唐草模様植込んだ花壇を毛氈花壇と言ひ、道路や生垣沿いに帯状に細長く作つた花壇をリボン花壇という。毛氈花壇は見た目には非常に美しいものであるが、材料を揃えることが困難であるから、素人には一寸むずかしい。

叢状花壇は草丈の高いものや低いものを、群团的に植えたものであつて、模様花壇のように図案式に植込んだものと趣がちがう。この花壇のうちで、生垣や建物にそつて帯状に作つた花壇を境栽花壇という。(図一参照)材料は宿根草が主であるが、そ

の外に球根類、灌木類も用いられる。前方から眺められるので、手前の方は丈の低いもの後方に行くに従つて高いものが植えられる。

寄植花壇は盛花花壇という別名がある如



く、草花類や盛花風に植込むところに特色がある。芝生の中や普通の庭園の中に設けられて、四方から眺められるので、中央は丈の高い宿根草や球根類とし、順次周りを低く植込む。

## 二 毛氈花壇の作り方

いろいろな花壇のうちで、一番技術のいるものは毛氈花壇であつて、これには色彩や草丈の揃つたものを植込むから、苗を養成するの骨が折れる。植木鉢で苗を育てて行けば理想的であるが、実際には仲々やれない。苗は自分で作るのにこしたことはないが、苗を作っている人から購入することもできる。

設計図は一寸見た目には複雑な模様式のものが多いが、実際にそれを地面に写すのは困難であるから、(図二)のごとく簡単なものにし、そこに植える植物をよく吟味する。

この花壇は色彩の調和、対象、配合が大切であるから、花色が同じ赤でも、また青でも、その中に色々変つた感じや対象をなす色をもっているから、簡単に赤とか青とか片付けてしまふのはよくない。配合する色や芝生の調和を考えて、あまりくどくない明るい配色のものを使うようにする。

初心者はと角複雑なものを作りたがるが、混み入つた模様や鋭い角度は、たとひ、図面上では表わし得ても、植付けに當つてはその感じを出すことはできない。(図三)は楕円形の花床の上へ作つた毛氈花壇の平面図と断面図で、これによつて植え方の要領を理解されたい。

最後に「図二」の場合を例にとつて春花壇と夏花壇に植える花卉を示すと次のごとくである。

### 春花壇

- A デージー(雛菊) 赤色
- B モス・フロックス(シバザクラ) 白色
- C モス・フロックス(シバザクラ) 桃色
- D パンジー(三色堇) 黄色
- E クサツゲ(ヒメツゲ)

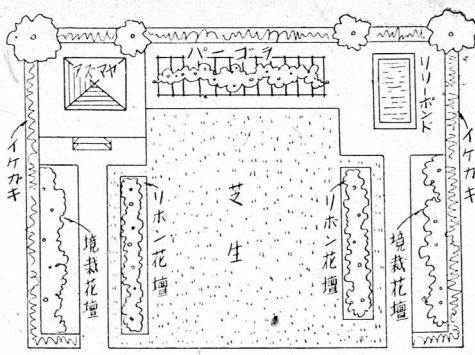
### 夏花壇

- A マツバボタン(又はベコニヤ) 赤色
  - B アリッサム 白色
  - C マツバボタン(又はロベリヤ) 桃色 (青紫)
  - D マリゴールド・エロー・ピグミー黄色
  - E クサツゲ(ヒメツゲ)
- 註 春花壇は四月から六月末までの期間の花壇を言ひ、夏花壇は七月より九月までの花壇のことである。春植えた草花は六月末には花も散るからその後は夏咲く花ととりかえる。

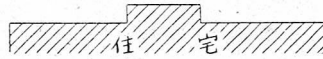
## 三 リボン花壇の作り方

この花壇に植えられる花は毛氈花壇のように矮性の草花が用いられ、形は長方形に限定されている。リボンのように細長く、通路や生垣に沿つて設けられるので、一名縁花壇とも呼ばれる。模様は毛氈花壇のよ

花壇本位の小庭園 (圖一)



うに複雑なものよりは、むしろ簡単なものの方が多く使われている。  
植え方の實際を示すと、例えば春花壇においては、パンジーやモス・フロックスなど何れか一種類を、直線植えにした簡単なものや、クローカスの黄色種と紫色種を品種別に曲線植えにしたものなど、色々な工夫がなされている。(図四参照)



實例 (圖四)

春花壇

- A デージー (雛菊) 鮮赤
- B パンジー 茶
- C パンジー 紫青
- D モス・フロックス (桃) の中に矮性チュエリリップ (赤) を植込んだもの
- E モス・フロックス (白)

夏花壇

- A フロックス・ドラモンドー 赤
- B マリゴールド・エローピクミー 黄

四 境栽花壇の作り方

- C アゲラタタク (又はロベリア) 紫
- D マツバボタン 桃
- E マツバボタン 黄

境栽花壇は、日本庭園にも西洋庭園にもよく似合うので、どこでもよく作られている。設けられる所は前にも述べたように、生垣を背景にしたところとか、正門から玄関に至る両側を飾るときなどに用いられる。

この花壇の幅は普通は三尺から六尺くらいであつて、九尺くらいになることは稀である(学校花壇では九尺が普通である)。また、人によつては植込む植物を標準として幅を定めている。すなわち、一番後に植込む最も丈の高い草花の一・五〜二・〇倍を幅としている。

色彩の配合は別に法則はないが、下手をすると見栄えのしないものになる。この花壇は近くから眺めるものには、単色や近似色の配色が上品でよいが(例えば赤と桃色、赤と紫といった配合)、変化に乏しいので、赤と青、赤と黄、黄と紫といった色彩環の上で相互に離れた位置にある色を配合した方が引立つて見える。(図七参照)また、それらの色の間に白い花を入れると一層鮮かになる。

植え方は、一番後に丈の高い灌木や宿根草を置き、次に中位の高さの宿根草や灌木を配り、その前面には丈の低い宿根草を縁近くに植える。縁の部分の植え方は、雑植式のやりかたもあるが、一種類の草花や矮

性灌木(常緑)で直線式に植えるのが無難のようである。(図五参照)  
手入れの上で大切なことは、花の終わった宿根草は種子が実らないように、根元から一尺〜一尺五寸くらいのところで刈込んで、他の草花の邪魔にならぬようにし、葉が黄くなつてから根際から切り捨てる。(灌木類は別である) こうして行くとき空いた場所ができるから、そこに別に仕立てておいた一年草の苗を植込む。このように補充して行くと、春から秋まで次ぎ次ぎに美しい花が咲きつづける。宿根草本位の花壇は二、三年間はそのままにしておいて、三年目か四年目に全部掘り起して新しく植込む。このときに堆肥のような有機肥料を十分に施す。植換へは春秋二期に行われるが、芍薬のごときは春植へは結果がよくないから必ず秋植する。

實例 (圖五)

- 1 モス・フロックス
- 2 スズラン
- 3 チューリップ
- 4 水仙
- 5 チューリップ
- 6 水仙
- 7 ヒヤシンス
- 8 バラ
- 9 ラッセル・ルピナス
- 10 シヤスターデージー
- 11 オリエンタルポピー (オニゲシ)
- 12 シヤスターデージー
- 13 バラ
- 14 シヤクヤク

牧草と園藝 (五月號) 目次

- ◆表紙写真……雪印種苗上野幌育種場の一部
- ◆説明 レッドクローバー (二番草)
- 手前は開花中のアルサイククローバ、遠方は燕麦(スワロフステール)
- ◆美しい花壇の作り方……重岡義雄……
- ◆玉蜀黍の種子不足の対策
- ◆夏播青刈飼料作物の栽培……三浦梧楼……
- ◆雪印紫丸かぶの特性解説……上野幌育種場……
- ◆暖地における青刈大豆の品種と作り方……福井重郎……
- ◆果樹の新しい高接法「皮下接」について……白幡喜一……
- ◆種なし西瓜の栽培要点
- ◆母のなるクローバー

五 寄植花壇の作り方

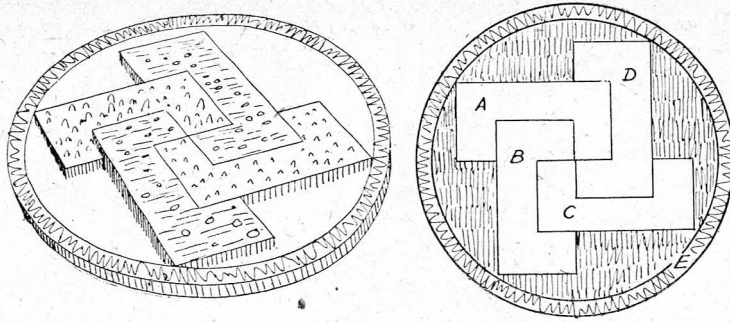
この花壇は四方から眺められる位置に設けられるので、中央には草丈の高いもの、周辺には低いものを植える。例えば円形の

- 15 ボタン
- 16 ツツジ
- 17 ジギタリス
- 18 ホリホック
- 19 シオン
- 20 レンギョウ

盛花壇壇では中央にダリヤ、カンナのごときものを植込み、その外側にサルピヤ、または葉鶏頭を配し、一番外側をアリッサム(白色)で囲むやりかたが、よく見受けられる。(図六参照)

花壇の直径と中心植物の高さの関係は原則としては、中心材料植物の高さの三、四倍というのであるが、この標準は周囲の背

毛氈花壇 (圖二)



側面圖

平面圖

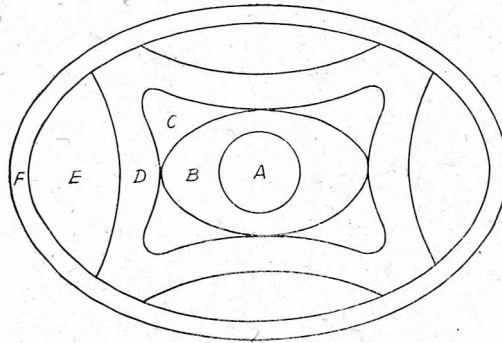
景の高さ、庭の広狭、眺める位置の關係によつて定めるべきで、一般に周囲の背景物が高い場合には、たとえ、花壇の面積が狭くとも、中央に相当高いものを植える。しかし広い芝生の中などで周囲の背景物が低い場合には、それに適するよう全体を丈の

低いものを作る。形も円形の外に楕円形、長方形、多角形等があり、毛氈花壇とちがつて、初心者にも作り易い花壇である。

六 色彩配合について

色彩配合は花壇の生命とも言ふべきで、

毛氈花壇 (圖三)



春花壇

夏花壇

- A チューリップ
- B バンジー
- C バンジー
- D モス・フロックス
- E モス・フロックス
- F クサツグ

- 赤 A サルビヤ
- 黄 B マリゴールド
- 青 C アグラタム
- 白 D アリサム
- 桃 E ポーチュラカ
- F クサツグ

赤黄青白桃

この取扱いに当を得ないと折角の苦心が台なしになる。それで美しい花壇を作るには、色彩配合の美学的研究が必要になつてくる。

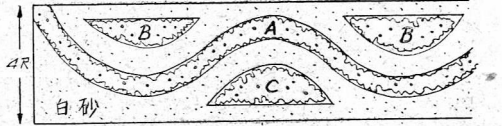
(1) 単色 同じ色の濃淡によつて生ずる調子で、例えば赤で言うならば、赤と桃色とを配したもので、服装などでは優美な配合であるが、人目を引く力が乏しいの

で、花壇裝飾にはあまり応用されない。

(2) 近似色 色環(色彩環)の上で相対している色の配合で、例えば赤と紫とを配列する場合である。(図七参照)この配色は単色の配列よりはやや複雑で美しいから、近くよつて眺める境栽花壇、リボン花壇の一部に用いられ、上品、温和な配色であるが、強さが足りないため、遠くから眺める花壇裝飾には適さない。

(3) 補色(餘色) 色環の上で相対する色の配合で、普通反対色と言われている。例えば赤と緑、黄と紫等は補色であつて、遠望する花壇には最も有効な配色である。緑の芝生の中に植込まれた赤い花が特に美しいのは、これがためである。しかし補色も乱用すると混乱を来すから注意しなければならぬ。

リボン花壇 (圖四)



境栽花壇 (圖五)

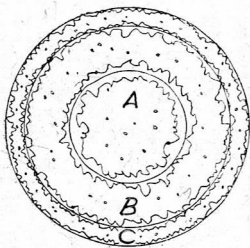


(5) 中間色 白や灰色は温色、冷色の何

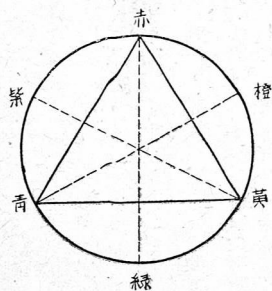
壇の中心に温色をその周囲に冷色を用いると、中心部を浮き上げ引き立てることができる。また常緑樹の植込みを背景にして前方に赤や黄を配するときは、赤や黄は益々前進するし、緑はいよいよ後退する。その結果は庭の奥行を深く見せることにな

(4) 温色(暖色)と冷色(寒色) 心理的に赤、黄、橙などは暖い感じを与え、青、紫、緑は寒い感じを抱かせる。また温色は明るくて前に進む色で、冷色は暗く、遠のく色である。従つて毛氈花

密植花壇 (圖六)



色彩環 (圖七)



れにも属さないので中間色といわれる。白は花環などにもなくてはならぬものであると同時に花壇においてもその利用法が多い。例えば赤と紫の花を列べて見栄がしない場合、それらの花の間に白色の花を挿むと非常に引立つてくる。また芝生の中にある緋紅色のサルビヤは非常に美しいが、そのサルビヤをアリサムのごとき純白の矮性花で囲むと一層際立つて美しくなる。

### 七 花壇と芝生

花壇は如何に理想的な草花を選定し、また色彩配合に工夫をこらしても、芝生の背景がなければ決して美しく見えない。石や煉瓦で縁取る方法もあるが、なんとなく野暮くさいものである。自分で芝生の種子をまいてもよいが、少しくらいであれば切芝として売っているものを購入してもよい。自分で作るには、ケンタッキー・ブリュー・グラス、高麗芝、チューイングフェスタクがよい。札幌の大通公園や、北大植物園のローンの美しさは定評あり、旅行者の目を慰めるに有名であるが、これはケンタッキーブリューグラスがこの地によく適しているからである。都府県の無雪地帯では冬も夏も緑で美しいチューイングフェスタクを播くことが望ましい。芝生の作り方については別の機会にゆずりたい。

(筆者は北海道学藝大学教授)

### 金蓮花雑感

金蓮花を何の気もなく英名のナスターチウムと呼んでいるが、ナスターチウムとは「オランダガラシ」の仲間を指し、これは「ナスス」(鼻)と「トルス」(悩ます)即ち喰うと辛いので「鼻を悩ます」の意である。処で金蓮花は茎葉や種子が辛く、外人は食卓にコップ挿しとして飾つては、チョイチョイツまんて噛つているが、この辛味のために「オランダガラシ」の名ナスターチウムと誤称されてしまつた。

本當の学名は「トロバイオルム」でこれは「トロバイオン」即ち「トロフイー」(戦勝記念品)の意で葉の楕形と花の毛冠に似た形からこの名がある。日本名金蓮花は無論金樺色の花と連に似た葉形からつけられたもので、金瓶梅の沃婦金蓮とは無関係である。

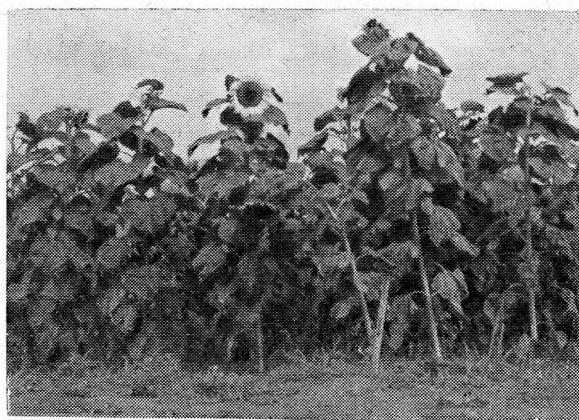
普通春時して極く容易に咲く美しい一年草であるが「食用球根金蓮花」(トロバイオルム・チュベローム)と呼ばれ、地下に球根が出来てても極めて美味だといわれている変物である。

### デントコーンの補播用として

### ヒマワリの利用

夏の日 豪華な花をつけて人の目を引く「ひまわり」は、極めて生育が早いこと、収量の多いこと、栄養価も豊富なことから古くから青刈飼料またはエンシレージ用として利用されているが、とくにデントコーンの収量の期待でき難い条件にあるときは、これを活用するのも極めて効果的なことである。土地の条件もあまり選ばず、生育期間が短いから気候の制約もゆるげることが少なく、栽培管理も極めて容易で、圃場の隅に単播するか、南瓜などに間作するか、あるいはまたデントコーンとの混作とくにデントコーンの欠株補充のために追播するなど応用は広い。播種期は寒地五月中旬から六月中旬で、八月中旬青刈として利用するかまたは九月下旬エンシレージにする。暖地では八月中旬まで十月月上旬青刈またはエンシレー

ージにする。反収は一・五〇〇貫は期待でき、デントコーンと混じて作られたエンシレージは見事なものとなる。



家畜の嗜好も良好で、とくに結実したものは脂肪に富み濃厚飼料としての価値をもつ。黒種色のブラックジャイアント、縞種子(黒と白)のラーセラリアンなどの品種がありいずれも草丈は七〜八尺となり、多数の広い葉をつけて旺盛な繁茂をするものである。

開花期に於けるひまわり

注 畦幅二、五〜三尺 株間一、〇〜一、五尺 一〜二本立 反当播種量 三〜四升 価格表

品種名	一 升	小袋
ひまわり	二五〇円	五〇円
多葉性ひまわり	三五〇円	五〇円

(なかの)